メンバーシップジャーナル『ラックマネージメント』

# LUCK MANAGEMENT®

3
March

Enlightenment Heart Corporation No.362

右　流れるような曲線を描くマガジンラックには、自然と佇む人の視線が向かい、求める情報をの瞬に引き出せるように仕上げています。

左　オープンデスク周りは、パーテーションで程よく仕切られ、オープンスペースでありながらも落ち着いてデスクに向き合えるように設定しました。

**IT業界の「花形事業」で成功しながらも**
**いつも心の奥底では何か違和感があったという。**
**経済・社会の環境が時代と共に大きく移り変わり**
**女性の地位や役割は、それに呼応するように**
**多様な変化と革新を遂げ続けている……。**
**激動するビジネス・シーンで活躍する人たちに**
**もっとアナログで親密な人間関係を創出できる場が**
**都会の「オアシス」としても必要ではとの想いから**
**『会員制ビジネスサロン』事業を立ち上げる。**

# 風水店舗を訪ねて

東京都新宿区　NATULUCK（ナチュラック）

**子供の頃からの「夢」だった、「人と人を繋ぎ、発見や出会い」を創出し**
**女性たちがもっと活躍できる社会の基盤を創るビジネスを目指す。**

## Q1 『風水店舗』に出会ったきっかけとは、何だったのでしょうか……。

現在の事業を起業する前までの13年間、携帯電話の販売をする会社の経営に携わっていました。その頃、営業で外回りをすることが多く、外出時に「ゆっくりと仕事ができるような場所」があったらいいのに、といつも考えていました……。

私は、学校を卒業すると大手航空会社系列ホテルに就職しました。憧れのソムリエに習ってアシスタントの勉強をしているうちに、一晩に何十万円ものワイン代にお金を使っていく、「お客様」の立場の方に憧れるようになっていきました。まだ、20歳代前半の多感な時期だったこともあり、「いつか独立して、お金を稼ぎたい」と純粋に思ったことを今でもよく覚えています。

やがて、そのためには「営業力」をまず身につける必要があることを学び、そのホテルをあっさり辞職し、営業力で有名な某大手職業紹介出版会社に飛び込みました。その会社にはいろいろな「伝説的」逸話をも つ人たちが多く集まっていて、また、固定給は下がっても歩合給が良く魅力でした。「年収1000万円を稼ぎたい」と公言する自分をせき立てるように毎日、100軒の飛び込み営業をこなしていきました。

暫くして、トップ営業マンの女性チームリーダーが突然、転職していきました。次の就職先は携帯電話の販売会社。まだその当時は、今のように携帯が一般的に使用されている時代でもなく、また、普及していくとも考えにくい環境でした。しかし、その尊敬していた先輩から転職を勧められ、くどかれ、1年後には私も新しいその事業に身を投じることになりました。

原宿に1店舗から始めた事業は、その後、17店舗まで拡大していきましたが、その頃、私の目標はやはり「いつか独立する」ことでした。10年経ったある日、その想いを社長に伝えたところ、「君が会社を辞めるなら俺が辞める。会社を継いでくれ」と言われました。

社長になってはっきりと気づいたことがありました。私が本当に欲しかったものは、「自分が考えたアイディア」で事業を興し、「自分の理念や理想、夢」を自身の力で事業化していきたいと心底考えていることを……。

## Q2 『風水店舗』を実際に造られるまでには、どのような変化や体験がありましたか……。

携帯電話の販売会社をしているときに、「ケータイがIT化し進歩していく中、ITに興味を持てない」という自分自身の本音に気がつきました。メール文化が普及したことで親子や友達同士の絆や関係が崩れていく現実や、インターネットの隆盛に比例して「いじめ」や犯罪の増加が社会問題となっていることも少し関係してはいましたが、私自身は子供の頃から、とても「アナログなこと」が大好きだったということに思いを馳せた結果ではなかったのかと思います……。

「人と人との直接的な触れ合いが一番大切なこと」という信念に気がついたのは、高校時代に親の仕事の関係で、それまで生まれ育った新潟を離れ、熊本に移り住んだときにはっきりと芽生えたことかも知れません。転校当初は、まったく「言葉」が通じませんでした。そこで持ち前の「企画好き」の性格が発揮され、クラスメートと突然、ポップロックのバンドをやろうということになって、音楽スクールに入学しドラムを1年間習い、その後、アマチュアバンドを結成しました。

その頃、「貯金が趣味」だったこともあり、100万円ほどは貯めていたので、自分の好きなことに自由にお金を使える喜びと興奮を既に知っていました。その資金を使い、クルマの免許を取りバイクも買いましたし、このバンドの資金や活動費などもアルバイトをしてすべて賄いました。このように幹事役や人の世話をするのが子供の頃から好きだったのです……。

現在の事業企画はすべて出来上がっていましたし、事業の創り方や運営方法も過去の経験で既に知っていました。しかし、「お客さま」にとって最良の空間・環境とは何なのかという問いの答えはまだ、暗中模索でした。そこで、1店舗から始め現在40店舗まで事業を拡大されたマッサージ店舗を運営している経営者の方に成功の秘訣を伺いました。

「風水師のアドバイスを受けて店舗を造っている」と聞き初めは耳を疑いましたが、世の中で「流行っている風水」と「本物」の違いを学ぶうちにとても興味をもちました。そのような折に松永先生を紹介されてセミナーに行き、「風水は環境科学であり、環境心理学である」との話に出会い、胸にスッと落ちていく感覚とある直観がありました。その時点で、既に店舗とする場所は決まり家賃も発生していたのですが、店舗の設計と施行のすべてを先生に依頼することに決めました。

右　入口のみならず、オープンデスクスペースからも見通しのよい受付は、質の高い細やかな対応をできる空間に仕上がりました。

左　眺めの良い外の景色を一望できる会議室は、大きな視点で物事を捉えることができるように設計されています。

風水インタビュー
FENG-SHUI Interview

## Q3 『風水店舗』を建てられてから、どのような変化や周りからの反応がありましたか……。

デザイン案を最初に見たときに「丸」や「円形」が多用されていることにびっくりし、同時に「私が想像していた理想の空間」以上の出来栄えに驚きと喜びを隠すことができませんでした。「100店舗まで増やしていく」という意気込みと、そのこだわりが見事に表現されていて、単なる場所貸しではなく「人と人を繋ぎ、発見や出会い」を創り出す場にしたいという私の想いが、そこに現出していました。

お客さまからの評判は上々です。感受性が強い方からは「ここは何なの！」と、その「氣」の流れの良さに好評を頂き、営業マンの会員様からは「ここで商談をすると商談が決まるんですよ」との声をたくさん聞いています。ある女性エグゼクティブの方が、とても重要なプロジェクトの企画書をここで書き上げ、見事、その企画が採用されて菓子折りを持参されお礼に来られたこともありました。

このような伝説や逸話、また、この場所での奇跡とも思えるような出会いが絶え間なくあり、私が理想としていた「ビジネスサロン」事業は順つた以上に好調に始動させることができました。

最近、私が注力しているのが、「人は皆すごく魅力的なのに、自分では気づいていない」という思いから、女性経営者をターゲットにした交流会やセミナー、イベントなどを次々と始めました。それは、以前に「経営者交流会」などのイベントに出席したときの経験から、そこに集まる人は男性ばかりで、また、女性が参加したとしても「壁の花」的な存在になってしまう「男性社会特有の雰囲気」を感じました。女性が元気になり、もっと活躍できる場を創っていくことが今の大きな目標です。

「光・香り・音などの環境が人に多大な影響を与えている」と言われた、あの松永先生の人間臭さと握手したときの優しい手の感触、そして、岐阜訛で話される言葉の温かさなどが、このオフィスの至るところに息づいているように感じます。先生が日頃から言われている、社会に貢献できる事業家」になっていくことが、今の私の理想であり夢となってきました。

# FENG-SHUI GALLERY

風水ギャラリー

東京都新宿区　ナチュラック

1

1 ウッド仕上げとブラウン系の色彩を施された空間は、外の雑踏を瞬時に忘れさせてくれ、深い寛ぎと集中をもたらしてくれる空間に仕上がりました。

**都心の街角に、静かで落ち着ける環境を提供する**
**ビジネス・ネットカフェ『ナチュラック』。**
**プライベート・オフィスとして、また書斎として**
**まさに「隠れ家」的なビジネスラウンジとして**
**エグゼクティブの方々が寛げる、**
**質の高い空間に仕上がりました。**
**空間に深みと奥行きを増す照明プラン**
**落ち着きと脳の活性化を増す色彩効果により**
**このうえない上質な空間が誕生いたしました。**

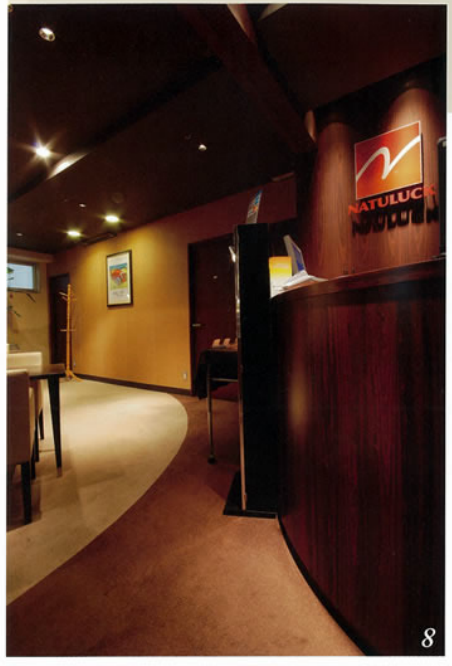
2

3

2 ミニバーのような上質な雰囲気を演出したドリンクコーナーは、頭を休め気分を切り替えるスペースとして有効です。

3 寒色系の「ブルー」による脳の鎮静効果と、暖色系の「オレンジ」による気の活性化を同時に満たすことのできる会議室は、冷静かつ挑戦的な判断が下せるような工夫が施されています。






8

6

7

4 5 柔らかな曲線を描くことにより、個別ブースは「個」の世界に没頭できるような配置を施しました。また、ブース間パーテーションの色を変化させ、その時の気分・目的に合わせて席を選べるように工夫されています。

6 全体的に照度を落としながらも、ポイントに光彩を照らすことで、深い奥行き感を感じていただける空間に仕上がりました。

7 デスク背後の書棚には「活きた」情報書が取り揃えられ、仕事やミーティングの合間に「学び」や「気づき」を誘発できるような、有益な空間に仕上がりました。

8 落ち着いたウッド仕上げの壁に、鮮やかなオレンジ色のロゴマークとカーブを描く床カーペットの貼り分けが、空間にメリハリ感を与え、落ち着いた印象の中にも刺激をもたらしています。

## FENG-SHUI GALLERY

〒160-0004　東京都新宿区四谷1-2三浜ビル3階
JR中央線・総武線 四ツ谷駅(赤坂口)より徒歩1分
東京メトロ丸の内線・南北線 四ツ谷駅(JR方面出口)より徒歩1分

会 社 名／株式会社NATULUCK
所 在 地／〒160-0004　東京都新宿区四谷1-2三浜ビル3階
電話番号／03-5367-5005
FAX番号／03-5367-5004
E-mail／info@natuluck.com
U R L／http://www.natuluck.com/